

## 「SGHアカデミックツアー」3/3～3/11 (ウィスコンシン大学オシュコシュ校研修報告)

### ① キャンパスライフ

3月7日(水)ボストンから飛行機でシカゴに着いたあと、車で4時間ほど移動し、ウィスコンシン大学オシュコシュ校に到着しました。オシュコシュはとても寒く、昼間の気温が-9℃でした。企画・運営してくださった Amy さんや日本からの留学生や現地の学生と様々な活動を行いました。大学の授業にも参加し、日本文化の授業では、日本語を教える経験もできました。外国人に伝わるように簡単な日本語を使うことは難しく感じ、日本人としてもっと日本文化について知ることが必要だと思いました。また、大学内にはラジオ局があり、日本のバンドのアルバムも置いてありました。2日目の夜には、バディとともに中華料理店に行き、日本の「いただきます」の文化を英語で伝えました。約3日間の研修生活の中で、寮を利用したりカフェテリアで食事をしたりと、大学生気分を味わうことができました。



### ② 研究発表

ウィスコンシン大学では、水(高島・寺尾)、医療(川原・坂本)、平和(澁・溝口)に分かれ、研究テーマと関連する授業の中で現地の学生や教授の前で1人1、2回のプレゼンテーションを行いました。海外の大学で、大勢の現地学生を前にプレゼンテーションをすることは、とても勇気がいりました。しかし、学生の皆さんは熱心に聞いてくれ、温かい言葉で緊張をほぐしてくれたり、鋭い質問で多くの示唆を得ることができたりし、本当に良い経験になりました。プレゼンテーションを繰り返すうちに英語にも慣れ、徐々に受け答えがスムーズになっていく中で、「なぜその研究が大切なのか」という根本的なところを多面的に考えることができました。



### ③ Farewell Party!!

3日目の夜、韓国の留学生による、コリアンパーティーが開催されました。あわせて、私たちの farewell party も行われました。ここでは、様々な種類の韓国の郷土料理が振る舞われました。料理を堪能した後は、みんなで英語を使ったゲームをして親睦を深めることができました。3日間を通して、大学の先生方や現地の学生の皆さんに、とてもお世話になりました。多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、SGH活動だけでなく、今後の人生にも役立てていきたいと思います。

